



## 2023年12月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2023年8月9日

上場会社名 スター精密株式会社  
コード番号 7718 URL <https://www.star-m.jp>  
代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 佐藤 衛  
問合せ先責任者 (役職名) 上席執行役員 管理本部長 (氏名) 佐藤 誠悟  
四半期報告書提出予定日 2023年8月10日 配当支払開始予定日 2023年9月6日  
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
四半期決算説明会開催の有無 : 有

上場取引所 東

TEL 054-263-1111

(百万円未満切捨て)

### 1. 2023年12月期第2四半期の連結業績(2023年1月1日～2023年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年12月期第2四半期	42,926	9.4	7,380	29.0	7,614	27.5	5,238	24.5
2022年12月期第2四半期	39,252	40.5	5,722	117.5	5,971	107.9	4,209	99.1

(注) 包括利益 2023年12月期第2四半期 9,113百万円 (3.0%) 2022年12月期第2四半期 9,393百万円 (141.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年12月期第2四半期	139.36	138.91
2022年12月期第2四半期	109.91	109.34

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年12月期第2四半期	99,638	79,758	79.7
2022年12月期	99,538	73,088	73.0

(参考) 自己資本 2023年12月期第2四半期 79,378百万円 2022年12月期 72,628百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年12月期		30.00		40.00	70.00
2023年12月期		30.00			
2023年12月期(予想)				30.00	60.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2022年12月期 期末配当金の内訳 普通配当30円00銭 特別配当10円00銭

### 3. 2023年12月期の連結業績予想(2023年1月1日～2023年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	79,000	9.6	11,000	21.0	11,400	19.7	8,400	18.4	224.85

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

## 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料P. 7'2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3)四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年12月期2Q	42,465,134 株	2022年12月期	42,465,134 株
期末自己株式数	2023年12月期2Q	5,249,794 株	2022年12月期	4,809,548 株
期中平均株式数(四半期累計)	2023年12月期2Q	37,591,661 株	2022年12月期2Q	38,298,973 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2'1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(会計方針の変更) .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、資源価格の高騰や長期化するインフレの進行に一服感が見られるなか、全般に景気は緩やかな回復傾向にありましたが、米国や欧州の中央銀行による金利の引き上げに伴う景気後退の懸念の高まりや、中国における消費および投資の減速、為替相場の変動などにより、依然として先行きが不透明な経済情勢が続きました。

当社グループの主要関連市場におきましては、小型プリンターの需要については全般に弱含みとなりました。また、主力の工作機械の需要はこれまで好調に推移していた海外市場は勢いがなく低調となり、国内市場の需要も回復が進みませんでした。

このような状況のなか、当第2四半期連結累計期間の売上高は、全体に為替の円安による影響を受けたことに加え、主に工作機械の売上が欧米市場を中心に前期からの受注残の消化が進み増加したことから429億2千6百万円(前年同期比9.4%増)となりました。利益につきましては、売上の増加などにより営業利益は73億8千万円(同29.0%増)、経常利益は76億1千4百万円(同27.5%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は52億3千8百万円(同24.5%増)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

なお、当第2四半期連結会計期間より株式会社スマート・ソリューション・テクノロジー(以下「SST社」という)を新規連結し「特機事業」に含めております。

#### (特機事業)

小型プリンターでは、これまで好調に推移していたmPOS向け需要が低調となったものの、前期に発生していた部材の調達難や物流の混乱による製品の供給遅延が緩和し、為替の円安の影響を受けたことなどから、売上は増加しました。地域別の売上につきましては、米国市場や欧州市場は主に為替の円安の影響などから売上は増加しました。一方、国内市場は市況が低調に推移するものの、SST社の新規連結により売上は前年同期並みとなりました。

以上の結果、当事業の売上高は89億8千2百万円(前年同期比12.8%増)、営業利益は17億1百万円(同11.7%増)と増収増益となりました。

#### (工作機械事業)

CNC自動旋盤では、全地域で年初より市場環境は低調に推移しましたが、欧米市場を中心に前期からの受注残の消化が進んだことに加えて為替の円安の影響を受けたことにより売上は増加しました。地域別の売上につきましては、米国市場は医療関連を中心に売上は増加しました。また、欧州市場では自動車関連を中心に売上は大幅に増加しました。一方、アジア市場では中国において前期後半から続く設備投資への慎重な動きなどから自動車関連を中心に低調に推移し、売上は大幅に減少しました。また、国内市場では依然として自動車関連が振るわないことなどから売上は減少しました。

以上の結果、当事業の売上高は339億4千3百万円(前年同期比8.5%増)と増加し、営業利益は66億8千4百万円(同30.0%増)と大幅な増益となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の資産は、棚卸資産が増加したものの、現金及び預金や売上債権が減少したことなどにより、前期末並みの996億3千8百万円となりました。負債は、仕入債務が減少したことなどにより、前期末に比べ65億7千万円減少の198億7千9百万円となりました。純資産は、自己株式の取得などがあったものの、利益剰余金や為替換算調整勘定の増加などにより、前期末に比べ66億7千万円増加の797億5千8百万円となりました。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の世界経済につきましては、グローバルでの地政学リスクやインフレ、各国の金融政策などによる景気減速の懸念など、依然として先行き不透明な経済情勢が続くものと予想しております。このような状況のなか、通期の連結業績につきましては、第2四半期連結累計期間の実績を踏まえ、売上高は790億円(前期比9.6%減)、営業利益は110億円(同21.0%減)、経常利益は114億円(同19.7%減)、親会社株主に帰属する当期純利益は84億円(同18.4%減)を見込んでおります。

なお、見通しの前提となる第3四半期以降の為替レートは、米ドルは130円、ユーロは145円であります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	30,069,164	28,169,932
受取手形及び売掛金	22,749,935	21,663,024
有価証券	34,278	—
商品及び製品	14,361,778	17,577,855
仕掛品	6,578,912	5,787,931
原材料及び貯蔵品	4,146,484	4,110,688
その他	2,264,776	1,733,688
貸倒引当金	△132,608	△166,492
流動資産合計	80,072,720	78,876,629
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	7,384,989	7,383,476
機械装置及び運搬具（純額）	3,332,228	3,586,395
工具、器具及び備品（純額）	1,350,231	1,419,556
土地	2,008,241	2,464,997
リース資産（純額）	61,195	62,805
建設仮勘定	215,439	187,322
その他（純額）	1,344,130	1,416,566
有形固定資産合計	15,696,456	16,521,121
無形固定資産		
その他	445,331	705,759
無形固定資産合計	445,331	705,759
投資その他の資産		
投資有価証券	1,131,830	1,042,465
繰延税金資産	425,428	459,840
退職給付に係る資産	1,299,938	1,482,307
その他	466,926	550,468
投資その他の資産合計	3,324,123	3,535,081
固定資産合計	19,465,910	20,761,962
資産合計	99,538,631	99,638,592

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,369,767	6,771,603
電子記録債務	4,618,781	665,942
短期借入金	—	15,000
1年内返済予定の長期借入金	—	46,466
リース債務	26,484	30,826
未払法人税等	2,417,312	1,479,596
契約負債	965,914	790,228
賞与引当金	1,550,218	1,519,941
役員賞与引当金	—	27,000
その他	7,155,653	6,492,358
流動負債合計	25,104,131	17,838,965
固定負債		
長期借入金	—	18,317
リース債務	41,207	38,777
退職給付に係る負債	100,988	113,592
その他	1,204,176	1,869,980
固定負債合計	1,346,371	2,040,666
負債合計	26,450,503	19,879,631
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	12,721,939	12,721,939
資本剰余金	11,710,490	11,719,953
利益剰余金	49,849,455	53,581,033
自己株式	△6,608,499	△7,466,035
株主資本合計	67,673,385	70,556,890
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	107,591	172,474
為替換算調整勘定	3,366,425	7,333,802
退職給付に係る調整累計額	1,481,466	1,315,591
その他の包括利益累計額合計	4,955,484	8,821,868
新株予約権	351,712	270,198
非支配株主持分	107,545	110,003
純資産合計	73,088,128	79,758,960
負債純資産合計	99,538,631	99,638,592

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)
売上高	39,252,758	42,926,690
売上原価	24,653,589	25,401,165
売上総利益	14,599,168	17,525,524
販売費及び一般管理費	8,876,499	10,145,361
営業利益	5,722,669	7,380,163
営業外収益		
受取利息	68,995	160,604
為替差益	143,749	—
受取賃貸料	20,687	20,904
雑収入	64,540	133,415
営業外収益合計	297,972	314,924
営業外費用		
支払利息	16,416	15,072
投資有価証券評価損	25,630	—
為替差損	—	59,833
雑損失	6,709	5,367
営業外費用合計	48,756	80,273
経常利益	5,971,884	7,614,815
特別利益		
固定資産売却益	3,894	8,621
退職給付制度改定益	—	203,002
特別利益合計	3,894	211,623
特別損失		
固定資産処分損	7,737	4,837
特別損失合計	7,737	4,837
税金等調整前四半期純利益	5,968,041	7,821,600
法人税、住民税及び事業税	1,290,228	2,053,357
法人税等調整額	432,656	531,374
法人税等合計	1,722,884	2,584,732
四半期純利益	4,245,157	5,236,867
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	35,627	△1,901
親会社株主に帰属する四半期純利益	4,209,529	5,238,769

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)
四半期純利益	4,245,157	5,236,867
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	10,069	64,882
為替換算調整勘定	5,120,538	4,000,382
退職給付に係る調整額	△2,265	△165,875
持分法適用会社に対する持分相当額	20,233	△22,800
その他の包括利益合計	5,148,577	3,876,588
四半期包括利益	9,393,734	9,113,455
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	9,319,452	9,105,154
非支配株主に係る四半期包括利益	74,281	8,301



(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2023年5月11日開催の取締役会決議に基づき、自己株式543,700株の取得を行いました。この結果、当第2四半期連結累計期間において自己株式が999,873千円増加し、当第2四半期連結会計期間末において自己株式が7,466,035千円となっております。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用しております。

なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。